

女性部は同友会の会員およびその企業や会員に關する全女性が気軽に参加できる会です。

東京中小企業家同友会

## 女性部ニュース 2003年春号

NO.49  
5/1発行

発行責任者 東京中小企業家同友会女性部 tel.03-5953-5671 URL http://www.tokyo.doyu.jp 女性部部长 森 裕子 hmori@8080.co.jp

### 「同友オブ・ザ・イヤー」最優秀賞を受賞!!

2003年3月15日(土)に開催された、東京中小企業家同友会の定時総会第2部において、「同友オブ・ザ・イヤー」が決定しました。活動部門の「最優秀賞」の榮譽に輝いたのは、女性部の特別例会"いっぽ前へ!レディGO"です。



同友オブ・ザ・イヤーは、今回で3回目となりますが、女性部はこのうち2回連続の受賞です。当日は250社の選考委員からの投票で確定したのですが、8つのノミネートのうち、最終的に墨田支部の産学交流例会との接戦が予想される中、活動内容はもちろんのこと、当日の壇上でのプレゼンテーションも効を奏したようで、思わず圧勝!!と行ってしまいたくなるような最高の結果が得られました。

元気な女性経営者の集まりでもある「女性部」の、日頃の活動の積み重ねがこのような評価を得たことは喜ばしい限りです。今後もこうした積極的な活動を通して、もっと多くの女性経営者(レディ)に女性部の活動にご賛同いただき、ますます活発な情報交流の拠点となっていけるようにと、心を新たにしたい一日でした。

#### 参加者の声

当日は関係者一同早めに集合し、応援演説用シートを用意したり、打ち合わせ&リハーサルを行って本番に臨みました。

森部長・五嶋副部長を先頭に、幹事約10名が壇上にあがり、日頃の女性部の活動風景そのままに、明るく元気に、和やかに一言ずつ応援演説を実施。

席に戻り審査を待つ間、後ろの席から「これは、象と蟻の対決のようだ」という、まるで泣き言のようなつぶやきも聞こえて…。協賛していただいた新宿支部藤田支部長をはじめ、市原副支部長、松本西部協議長よりの温かくも力強い応援演説の甲斐もあって結果、見事「最優秀賞」をGET!!

この受賞で、女性部が元気な女性経営者の代表的存在として同友会全体に認識されると同時に、女性部が大きく飛躍したこの一年を象徴する受賞であったことは間違いありません。

大田支部 三喜屋商事(株) 守屋 慶子



#### ~同友オブ・ザ・イヤー応援演説によせて~

いつもながら女性部の創造的な感性には感心させられます。

前例と経験則に縛られて動けない男性陣、この姿は今の日本や東京同友会の姿にも重なるものがあるような…。今後ともいい意味で女性部の皆様と同友会の新しい時代の扉を開けていってくださることを期待しています。

イラク戦争のニュースを見ながら、破壊することの悲しいくらいのはやすさとひとつのものを創造していくことの難しさ尊さを感じながら。



新宿支部 晋立印刷(株) 松本 晋一郎

### カバゴン先生の「健康講座」に、参加者一同熱中・夢中!!



試薬で試したら、  
水の色がこんなに違う・・・

2003年3月20日(木)18:30~、都心協・GOクラブ・温泉と久保田の会合同の「女性部3月例会」に、カバゴン先生こと服部進先生をお招きして講演会が開催されました。年度末も近く、3連休前の木曜日の晩、参加者はどれ位か・・・と懸念しながらでしたが、同友会本部の会議室が狭く感じるほどの満員御礼!!

昭和5年生まれ、御年73歳になるカバゴン先生の実体験(糖尿病性網膜症による失明の危機から脱出)に基づく講話は説得力がありました。講話だけでなく、水の試薬試験や小松菜ベースの健康ジュースの試飲などがあり、最後には「参った!!」「塩と水、買ってかなきゃ!!」という気分になってしまった方が多かったので、臨時に設けられた直販コーナーに購入者が殺到するという盛況ぶりでした。

数ある健康法から自分にあうものを選ぶとき、費用と手間がかかり、かつ不味いものは敬遠したいもの。そういう意味では「小松菜ジュース」は、塩・水・油・レモンが入ってとても飲みやすく、作り方も簡単そう。参加者の大半から「これで血液サラサラならやってみる価値大だわ!!」という意見が上がっていました。新年度を前にして、『経営者の体は重要な資本』という当たり前のことにも気づかされた、とても有意義な2時間となりました。

(文責 新井)